

事業計画書

	事業名	みんなで創る未来の都市農業 コミュニティ農園 事業
	団体名	まつど市民の会
事業概要		
コミュニティ農園を通じて、人々のつながりや自然との触れ合いが深まり、未来への希望や循環型環境づくりに貢献し、食への関心を育み、都市農業の新たな形を共に創り上げていく。		
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	松戸市は、大都市周辺で行われる近郊農業地帯として発展していましたが、都市化が進む中で、農地が都市施設や宅地等に変わり、人口約 50 万人を抱える都市に発展してきました。 一方で、農業従事者の高齢化、担い手や後継者不足が深刻化していますが、他方で、農業が担う役割である農産物の供給のほか、都市の中の貴重な緑地や防災機能など、都市農業の有する多面的機能である、地域活性化、環境保護、食の安全、地産地消、持続可能、教育などの重要性が認識されてきています。 松戸市では、都市農業振興基本計画の主旨を踏まえ、都市農業の有する多様な機能の発揮を通じて、良好な都市環境の形成に資することを目的に、市内全域で営まれている農業を都市農業と位置づけ、本市農業の持続的な振興に関する平成 31 年（2019 年）3 月に「松戸市都市農業振興計画」を策定されました。 本事業では、計画に掲げられている『次代につなぐ、人、まち、農業』の理念を実現できる、きっかけを市民に提供できる内容と考えています。	
事業の目的	①松戸市の農業の現状を身近に感じるきっかけを作ること。 ②人と人のコミュニティが形成されるきっかけを作ること。 ③環境の保全について身近に体験でき、きっかけを作ること。 ④未来に農業をつなげるきっかけを作ること。 ⑤事業を通じて、食の安全、持続可能への取り組みのきっかけを作ること。	
事業内容	1 事業内容 ①土づくり、苗づくり、植え付け、管理（通年） 耕作に使用されていない、農地およびプランターで自然農法を基準に土づくりを行い、畑およびプランターで育てる準備を行う。プランターでの自然農法は、子どもや初心者に対して、自然と共に作物を育てるプロセスを学ぶ良い機会を提供できる。種から苗を作り植え付けをする。農園（候補地、主水新田地域、七右衛門新田地域、紙敷地域）の管理は、草取り、マルチ張り、水やりは必要な時に行う。土作りから、野菜の作り方を学ぶ。 ②収穫体験（都度、ジャガイモ、サツマイモ、夏野菜、春野菜） 収穫により、食材や農業に対する理解を深め、コミュニティとの交流を通じて、豊かな生活を実現するための多くの気づきを得る貴重な機会とする。 ③情報発信 事業周知、普及、啓発のために、広報、チラシ、地域情報誌、関係団体への発信、SNS で発信をする。（月 1 回以上） ④上映会（年 1 回）「いただきますみそをつくるこどもたち」（予定） ⑤料理教室（年 2 回） 事業で収穫した食材を使用して料理を作り、地産地消の経験をし、農業や経済への貢献についての理解を深める。 ⑥講座（年 2 回） 自然農法に関する講座を行い、循環型都市環境の形成と保全についての知識の習得と取り組みについての理解をする。 ⑦次年度生産計画書の作成 次年度に向けた、生産計画を作成する、その際事業年度の振り返り、フィードバックを行う。 ⑧活動報告 活動報告を開催し、新規参加者の巻き込みを図り、地域の活動として定着を目指す。	

	2 スケジュール		
	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	通年	①土づくり、畑とプランターの管理、苗づくり、植え付け	A. 実施体制: 会員有志 B. 対象: 参加者 C. 場所: 農園およびプランター
	毎月	③情報発信 (SNS の発信)	SNS の発信
	4 月 12 月	⑥講座	A: 会員有志、外部講師 B: 参加者 C: 市民センター
	7 月	④上映会	A: 会員有志 B: 参加者 C: 市民センター
	7 月・ 8 月・ 9 月・ 10 月・ 11 月・	②収穫体験	A: 会員有志 B: 参加者 C: 農園
	11 月・ 2 月	⑤料理教室	A: 会員有志 B: 参加者 C: 市民センター
	1 月・ 2 月・ 3 月	⑦次年度生産計画書の作成 (各月 1 回会合)	A: 会員有志 B: 参加者 C: 市民センター
	3 月	⑧活動報告	A: 会員有志 B: 参加者 C: 市民センター
・ 事業を始めるまでには農園確保を予定。 ・ 対象参加者は候補地の近隣に住む多世代の松戸市民			
既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアップ 助成のみ)			
事業の目標	事業年度目標 ・ 農園事業に参加する家族を年間 10 家族の参加を目標とする。 ・ 収穫体験に年間 25 組参加を目標とする。 ・ 上映会参加人数を 50 人を目標とする。 ・ 講座受講者を 2 回で 40 人を目標とする。 ・ 料理教室への参加を 2 回で 10 組を目標とする。		
今後の展望	コミュニティ農園事業の拡大、都市農業としての松戸市の特徴のある街づくり事業として定着をさせる。 耕作放棄地の削減、後継者育成事業の一つとして定着させる 令和 7 年度 コミュニティ農園活動を展開・拡充 令和 8 年度 コミュニティ農園事業の新拠点への展開と支援 令和 9 年度以降 コミュニティ農園事業のマニュアルづくり、企業との共同事業への展開と農業経営環境の改善。 事業だけでなく、農産物のブランド化への展開を進めて行く。		

事業の予算概要

【収 入】

(単位：円)

科 目		金 額	積算内訳
団 体	イベント（講座・収穫体験）参加費	¥ 34,700	講座（430円×20人）2回 収穫体験（500円×5組）5回 料理教室（500円×5組）2回
	上映会参加費	¥ 25,000	映画『いただきます みそをつくるこどもたち』 （500円×50人）
	自己資金の合計額（A）	¥ 59,700	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	
合計額（C）＝（A＋B）		¥ 159,700	

【支 出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 104,000	・深型ブレンダー 5000円×10 50,000円 ・タネ 300円×30 9,000円 ・野菜苗 100円×100 10,000円 【料理教室】 ・食材費6,000円×2回 12,000円 【農機具】 レイキ1,500円、スコップ2,000円×1、シャベル300×10、鋏3,000円、マルチ5,000円×2、鎌300×10、ひしゃく500円
	使用料及び賃借料	¥ 37,200	・映画使用料 映画「いただきます みそをつくるこどもたち」30,000円 ・新松戸市民センター（講座）810円×2回=1,620円 ・新松戸市民センター（ホール3時間） （上映会）2,130円 ・新松戸市民センター（料理教室3時間） 1,320円×2回=2,640円 ・新松戸市民センター（活動報告3時間）810円×1回=810円
	食糧費	¥ 13,500	・参加者お茶代（150円×90人）
	印刷製本費	¥ 5,000	・周知用チラシ作成（5円×1,000部）
	対象経費の合計（D）	¥ 159,700	
その他経費			
	その他経費の合計（E）	¥ 0	
合計額（F）＝（D＋E）		¥ 159,700	

- 【チェック項目】
- 1

助成金（B）が対象となる経費（D）欄の90%以内、自己資金（A）欄が対象経費（D）欄の10%以上であること
- 2

助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。